

[平成28年度 徳島県立鳴門高等学校 学力向上実行プラン]

		自己評価		学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
<p>学習に対する目的意識が希薄で、家庭学習に十分に取組みにくい生徒が多い。</p> <p>また、多様化した生徒に対応した指導方法、内容等を検討し、組織的に学力の伸長を図る。</p>	<p>(全校レベル)</p> <p>I) 授業力の向上を図る。</p> <p>II) 単位制を生かし、生徒の進路の多様化に対応した教育課程を整備する。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>① 学習意欲・習慣の向上及び基礎学力の定着 [各学年・図書課・教務課・各教科]</p>	<p><b>評価指標</b></p> <p>I) 先生の説明がわかりやすいと思う生徒の割合を昨年度86.9%から1%以上向上。</p> <p>II) 単位制による多くの選択科目や少人数授業などが充実していると思う保護者の割合70%以上。</p>	<p><b>評価指標の達成度</b></p> <p>I) 生徒による授業評価17項目において昨年度に比べて9項目数値が上昇。板書についての項目がすべて向上。先生の説明がわかりやすいと思う生徒の割合は86.4%。</p> <p>II) 保護者への学校評価アンケートを実施し、単位制による多くの選択科目や少人数授業などが充実していると思う保護者の割合58%。</p>	<p><b>総合評価</b> (評定) B</p> <p>(所見) 生徒の多様化に伴い、生徒間の学力差が顕著である。家庭学習時間についても同様である。成績上位者は十分に家庭学習時間を確保しており成績にも反映されている。家庭学習時間0時間の割合は依然として課題を解消できていない。単位制の良さを十分に生徒・保護者に浸透させ、生徒の実情に応じた指導方法・内容・評価を各教科で検討し対策を講じたい。</p>	<p>○授業参観で以前より「生徒との対話的な学び」が増えている印象を受けた。創意工夫してそのような授業を増やしてほしい。</p> <p>○学習時間が少ないという評価であるが、全国的に見ると普通の状況ではないか。</p> <p>○教員の相互参観授業については大変良い取り組みだと思う。教員が相互に授業力の改善につなげ、生徒に還元してほしい。</p> <p>○単位制の良さを十分に生かし生徒の学力向上に繋げてほしい。</p>
		<p>① 【1学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習0時間の者10%以下。2時間以上の者25%以上。</li> <li>・1, 2学期末において欠点4科目以上の者5人以下。平均80点以上の成績上位者各学期70人以上。</li> </ul> <p>【2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習0時間の者10%以下。</li> <li>・1, 2学期末において欠点4科目以上の者5人以下。</li> </ul> <p>【3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習4時間以上の者10%以上、0時間の者5%以下。</li> </ul>	<p>① 【1学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習0時間の者平日23%, 休日15%。(2時間以上の者平日11%, 休日33%)</li> <li>・1学期末において、欠点4科目以上の者8名、平均点80点以上の成績上位者各59名。</li> <li>・2学期末において、欠点4科目以上の者9名、平均点80点以上の者56名。</li> </ul> <p>【2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習時間0時間の者平日37%, 休日34%。(平日2時間以上29%, 休日2時間以上34%, 平日3時間以上14%, 休日4時間以上10%)</li> <li>・欠点4科目以上の者(2学期末7名)</li> </ul> <p>【3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習4時間以上の者14%, 0時間の者20%(生徒間で格差が大きく、文系クラスに0時間が多い。)</li> </ul>		
		<p><b>活動計画</b></p> <p>I) 相互参観授業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科会、学年会で学力向上に向けて検討する。</li> <li>・高大連携事業を行う。</li> </ul> <p>II) 多様な学校設定科目を設ける。</p>	<p><b>活動計画の実施状況</b></p> <p>I) ・6月, 11月に教員の相互参観授業「学び合いweek」を実施し、授業評価カードを活用して授業力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年毎に模擬試験等の結果を活用した学力分析会を実施し指導改善に活かした。</li> <li>・7月に徳島大学を訪問し、体験授業を含めキャンパスツアーを行い141名(1年40名, 2年52名, 3年49名)の生徒が参加した。また、本校に徳島大学・鳴門教育大学から来て頂き授業を実施した。</li> <li>・四国大学の「わくわくイングリッシュセミナー」に10名の生徒が参加した。</li> </ul> <p>II) ・ボランティア学特講, チャンピオンスポーツ, ライフロングスポーツ, 生活の書, ユニバーサルデザイン, フードデザイン, 時事問題, エブリディ・イングリッシュ, 伝統文化など多くの学校設定科目により, 生徒の学力の多様化に対応した。</p>		
<p>① 【1学年】</p> <p>3教科(英数国)に毎週, 課題を課し, 自主学習の習慣づけをさせるとともに, 家庭学習時間を増やす。学習計画および生活の記録をつけさせ, すべてのテストに対して計画的に準備する習慣をつけさせる。</p> <p>【2学年】</p> <p>3教科(英数国)に週末課題を課し, 家庭における学習習慣の確立と最低学習時間の確保</p>	<p>① 【1学年】</p> <p>英・数・国の週末課題を毎週実施し, 提出させることで学習習慣の定着を図った。家庭学習時間については1学期から2学期にかけ平日, 休日ともに上昇した。</p> <p>【2学年】</p> <p>英・数・国の週末課題を毎週実施し, 年間通して組織的に実施することで成績上位者の増加につながった。一部提出が遅れる生徒に課題が</p>				

		をを図る。  【3学年】 1学期中は、3教科（英数国）に週末課題を課し、家庭学習時間を増やす。また、提出を徹底させる粘り強い指導を行う。  【図書課】 情報の取捨選択、活用能力の育成及び、学びを深める場としての図書館の活用を推進する。	ある。 <b>【3学年】</b> 英・国は週末課題、数は日々の演習を課し、家庭学習の習慣付けを図った。提出期限厳守を徹底し、粘り強く指導を行い提出率85%達成した。 <b>【図書課】</b> ・小論文等進路に関する情報を提示するコーナーを設置した。 ・来館者にニーズに応じた情報検索をレクチャーした。 ・月に1回図書館だよりを発行した。 ・新刊書等話題の本を紹介するコーナー等により生徒の関心を高めた。		
具体的な進路目標を早期に設定し、個に応じた進路指導を充実させ、すべての教育活動においてキャリア教育を推進する。	（全校レベル） I) 「夢をかたち」にできる魅力ある学校にする。  II) 保護者と連携した進路指導を充実させる。  （下位組織レベル） ①進路意識の向上 [各学年・進学課]  ②総合的な学習の時間の充実[各学年]  ③キャリア教育の充実[就職課] [進路課]	<b>評価指標</b> I) ・国公立大学合格者40名以上。 ・本校に進学させて良かったと思っている保護者の割合80%以上。  II) 三者面談や学年別 PTA 等は十分に行われていると思う保護者の割合70%以上。	<b>評価指標の達成度</b> I) ・国公立大学（12名）私立大学（192名）私立短期大学（14名）専門学校（76名）明治大学、同志社大学等関東、関西の有名私立大学への進学者の増加、看護医療系への進学者が例年以上に多く、国公立大学進学者の減少の一因になった。 ・本校に進学させて良かったと思っている保護者の割合82%。  II) 三者面談や学年別 PTA 等は十分に行われていると思う保護者の割合70%。	<b>総合評価</b> （評定）  B  （所見） 進路課を中心に各学年と連携しながら組織的にキャリア教育を展開し、生徒の進路意識を高めることができた。「適切な進路指導ができていたとした保護者の割合は73%」成績上位層は着実に学力を伸ばしている。成績下位層に進路希望調査の「進路未決定者」が多く、保護者と連携を取りながらきめ細かい指導が必要である。生徒の個性・主体性を引き出す進路ガイダンス等の工夫も必要であり、鳴高キャリアアッププランをより充実したものにしたい。	○入学時、1年後、卒業時等生徒の学力を十分に分析して進路指導の結果を考えることが大切である。  ○生徒一人ひとりに各学年、保護者、教員が円滑な連携をとり、一人でも多くの生徒が希望する進路に夢を叶えられるよう更なるご指導をお願いしたい。  ○生徒に目標や学ぶ意欲を醸成できるキャリア教育を実践してほしい。
		<b>活動計画</b> I) 進路ガイダンスを実施する。 (鳴高キャリアアッププランで実施)  II) ① ・夏季休業中に三者面談を実施する。 ・学年別 PTA を実施する。 ・PTA 活動を活性化させる。 ・個人面談を充実させる。 ・補習を充実させる。 ・1・2年生に対して、校外模試を年5回以上実施する。 ・大学入試センター試験に向けた実践トレーニングを行う。 ・進学資料を適切に配布する。 ・資格取得を奨励する。 ・生徒が主体的に進学先を研究する姿勢を身につけさせる。 ・進路探究バスツアーを実施する。	<b>活動計画の実施状況</b> I) ・1年生対象に職業別ガイダンスを実施した。(35講座) ・2年生対象に学問別ガイダンスを実施した。(31講座) ・3年生対象に学校別ガイダンスを実施した。(38校参加)  II) ① ・夏季休業中に三者面談を実施し、進路について理解を促進した。 ・学年別 PTA を実施し、進路説明会・進路講演会を実施した。 ・7月にPTA・教職員が関西学院大学を視察した。 ・4月・9月に面接週間を設け、生徒1名につき2回以上の個人面談を実施した。 ・年間早朝補習を30分、放課後補習を50分実施した。また、夏期・冬期・春期及び2次対策補習などを実施した。(補習出席率1年84%、2年82・6%、3年79・1%) ・1・2年生の校外模試を年間6回実施(3回は全員)。部活動で当日受験できない者に対して、別日程で受験できるように配慮した。 ・冬季休業日以降に鳴高プレテストとして3回実施した。 ・大学・専門学校資料頒布会2回実施。 ・県主催の英検 IBAを受験し、全体として1年生は4級レベル、2年生は3級レベル。1年生は3級以上が148名、2年生は準2級以上が80名、2級5名、準1級1名という結果であった。 ・外部講師による手話講座初級コース全8回実施した。 ・鳴門教育大学、徳大医学部、鳴門病院付属専門学校での体験授業		
					○鳴高キャリアアッププランをより効果的にするために各学年組織的に努力し、魅力あるものにする。  ○生徒の進路希望調査を踏まえ、進路ガイダンスをより魅力あるものにし、生徒の主体性、個性を引き出す。  ○1・2年生進路別集会を実施し、講演会、卒業生からの体験談等を実施し、生徒の進路意識を高める。また、「進路だより」をリニューアルする。  ○企業等と連携し、就職希望者に職業ガイダンスを計画的に実施する。また、看護等の医療関係に進学したい生徒のインターンシップ、講座を工夫し、計画的に育成する。

		<p>等に積極的に参加した。</p> <p>・7月に徳島大学（141名参加）8月に岡山大学（14名参加）への進路探究バスツアーを実施した。</p> <p>②薬物防止・非行防止・食育教育・創立記念などの講演会を実施し、広く社会の出来事について関心を持たせキャリア教育を行う。</p> <p>③インターンシップの参加を促す。</p>	<p>等に積極的に参加した。</p> <p>・7月に徳島大学（141名参加）8月に岡山大学（14名参加）への進路探究バスツアーを実施した。</p> <p>②薬物防止，食育，命の教育等の講演会を実施し，基礎的汎用力を育成した。また，NIE教育の一環として，新聞読書感想文を1・2年生は全員，3年生は進路決定者に課し，社会の出来事に関心を持たせることができた。創立記念日は，本校卒業生弘山晴美氏の講演会を実施しキャリア教育につながるものとなった。</p> <p>また，鳴門市選挙管理委員会・法テラス徳島法律事務所と連携した主権者教育講演会を2回実施した（2年・3年）。「高校生のための租税教室」，「年金セミナー」を実施した（3年）。</p> <p>③・徳島赤十字病院等地域医療現場に41名の生徒が職場体験した。</p> <p>・就職については大塚製薬はじめ県内・外の大手企業に全員内定した。（就職33名，公務員3名）</p>		
--	--	--	--	--	--

[平成28年度 徳島県立鳴門高等学校 学力向上推進員・検討委員]

<p>学力向上推進員</p>	<p>教諭・英語科主任・進学課員・国際交流推進委員</p> <p>渡辺 真理子</p>	<p>学力向上検討委員</p>	<p>教諭・数学科・1学年主任          教諭・公民科・2学年主任          指導教諭・英語科・3学年主任          教諭・英語科・進学課長          教諭・国語科主任・環境教育課長          教諭・地歴科主任          教諭・公民科主任・生徒指導課員          教諭・数学科主任・進学課員          教諭・理科主任・保健厚生課長          教諭・保健体育科主任・生徒指導主任・総務課員          教諭・芸術科主任・人権教育課主任・環境教育課員          教諭・家庭科主任・教育相談課主任・環境教育課員          教諭・情報課長・進学課主任・情報科主任</p>	<p>美崎 由子          郡 善則          吉成 泰代          木下 広幸          清水 英洋          北池 直美          森脇 稔          廣田 祐作          仁木 留見          市橋 賢治          清水 愛恵          山田 真由美          宮崎 威</p>
----------------	---	-----------------	--	--